

子どもの本から

「ごとば」を食べる

仲 明子

この本は、「おいしそうなことばを目の前にすると、つい食べてしまいたくなる」という、はせみつこによって編まれたもの。

はせは、「しゃべる」「あそぶ」「きこえる」のよ
うな詩の楽しみ方をするを「ことば」を食べる
と表現している。そんな、はせによって食べられた
たくさん詩のなかから、とびきりおいしかった五

十七編の詩を集めたのがこの詩集。

谷川俊太郎、まど・みちお、工藤直子、阪田寛夫
など現代の詩人と一緒に、北原白秋、草野心平、室
生犀星、与謝野晶子などの詩もさりげなく並んでい
る。

「この本のなかで、好きなのはどれ？」と子どもた
ちに聞いてみると、すかさず、「そうだむらのそ

んちようさんが ソーダのんで しんだそうだと
みんながいうのはウッソーだって……………」(「そうだ
村の村長さん」阪田寛夫) や「ヨーチエンヤトット
ヨーチエンヤコーラ……………」(「ヨーチエンおんど」
井上ひさし)の大合唱が起こる。

子どもたちと一緒にこの本を開いていると、大人

▲「しゃべる詩 あそぶ詩 きこえる詩」 はせみつこ編
飯野和好絵 富山房 一九九五年



の私がひとりで見ていると見逃してしまふ、みんな
で声高らかに唱えることが楽しい詩がたくさんあ
る。ことばの「音」としての魅力を楽しむ「しゃべ
る」ということばの食べ方は、大人の私より子ども
たちの方が得意なようだ。

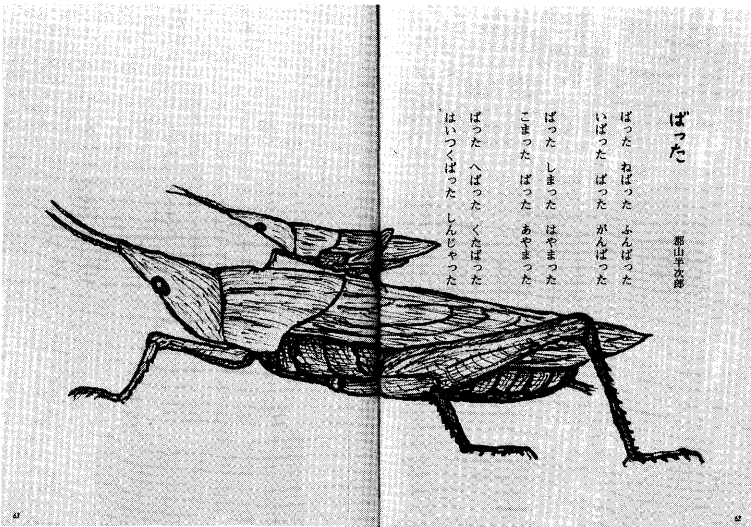
では、ことばを「あそぶ」のはどうだろうか。は
せは、「ゆっくり、はやく、ささやくよう
に、ぶっきらぼうに、なめらかに……………」など
あそぶことを勧めている。

わが家で始めて、ことばをあそんで楽しん
だのは「カバの うどんこ」(『てんぷらぶり
ぶり』まど・みちお 大日本図書 一九六
八)。塀に、左から右へ「こんどうの バ
カ」とらくがきすると、反対から自転車でき
た畳やおじさんがゆっくりと右から左へ一
字ずつ、「カ・バ・の・う・ど・ん・こ」と
読みながら通り過ぎて行った、というもの。
もう、いつだかわからないほど前から、わが

家で楽しまれてきた。そんなわけで、「まど・みちお」という名前があると、子どもたちのページをめくる手が思わずとまる。

この本で、まど・みちおは「タンポポ」のなかで、いろいろな動物がタンポポのことをどう呼んでいるかを並べあげている。イヌはワンフオフオ、ウシはターモーモ、デンデンムシはタンタンポ。ナメクジはタヌーベ、チョウチョウはポポポポ、のよう

に。
こんな「あそぶ詩」だったら、大人の私も子どもの好みにとまどわない。子どもたちに「わかれるときのあいさつは、ふたごなら バイ、よつごなら バイバイ、じゃあ、はちなら？」と聞かれれば、「バイバイバイ」、「じゃあ、はいしゃさんなら?」、「はいちゃ」、「まほうびんやさんなら?」、「じゃあ」、「せとものやさんなら?」、「おさらば」、「ほうちょうやさんなら?」、「では」と、思わず答えてしまう（「わかれることば」 阪田寛夫）。



▲「ばった」 郡山半次郎

こうして、私はこの本を通して子どもたちといろいろなことばを「食べる」ことを楽しんだ。そこで、小学一年の甥の誕生祝いにこの本をプレゼントした。ところが、普段、ことはあそびに余念のない彼なのに、べらべらとめくっただけで横においてしまった。彼はなぜ、その場でことばを食べなかつたのだろう。

「食べること」は「飲み込むこと」とは同じではない。口の中で味わってこそ「食べる」と言えよう。

はせみつこは「ひとつひとつのことばを、舌やくちびるで味わいながら」と「しゃべる」ことについていっている。子どもたちをみていると、ことばはまじ「音」として楽しまれていることがわかる。誰かと一緒に声高らかに唱えることが楽しくて、何度も何度も繰り返し返すうちに、「音」としての魅力に気づく。「口の中で味わう（食べる）」チャンスは、誰かと一緒の方がたくさんありそうだ。

そうして「しゃべったり」「あそんだり」して、

繰り返し楽しんでいううちに、文字としての意味をこえた、「ことばの中にかくきかれている詩人の声」が、きこえてくる」ことに出会えることもあるのかもしれない。すると、この本を一見しただけでは食指の動かなかつた甥にも、大人の私にも、何かの機会に誰かと「しゃべって」「あそぶ」うちに、「きこえる」ことがあると期待したい。

編者のはせは、劇団四季、仮面座、ことばあそびの会を経て、詩やことばあそびのステージ活動を続け、ことばパフォーマンスのジャンルを確立した人。そんな、はせに「《ことば》とは《音》だったのだ」と気づかせたのは子どもたちだったという。

では、私ももう一度、この本を開いて、「しゃべる」という食べ方で、子どもたちと「ことば」を食べてみることにしよう。

(舞々同人)